

# 第16回 京都府における スポーツ施設のあり方懇話会 資料

令和5年9月8日

## <配布資料 目次>

1. 第15回スポーツ施設のあり方懇話会での主な意見
  - 国際大会・プロスポーツ等
  - 地域活性化
  - 多機能、多目的利用
  - 交通・安全面
2. 現地調査（8月25日）での主な意見
  - 整備検討地（府立大学・向日町競輪場）に関する意見
3. 京都府のスポーツ振興に関する現行計画、施設整備状況、主要な施策
4. 本日いただきたい御意見

# 1 第15回スポーツ施設のあり方懇話会での主な意見

## 国際大会・プロスポーツ等

- 世界的な華やかなスター選手を間近に見ることができれば、こどもたちの夢につながり、それぞれの人生が彩っていくような体験に繋がっていく
- 北海道のエスコンフィールドの事例を参考に、多くの高校生が憧れる「聖地」となるような施設としてもらいたい
- 府内スポーツ施設は前回国体時（昭和63年）に整備されたものが多く、現在の国際基準に求められる基準には満たない点も増加してきており、近隣府県との誘致合戦に負けてしまう状況にある
- 広さやゆとりのある設備を備え、さらに付属施設にも配慮の上、大会開催において負担が少ない施設としてもらいたい

# 1 第15回スポーツ施設のあり方懇話会での主な意見

## 地域活性化

- アリーナが整備されることで、学生にとって夢のある場所が生まれれば、地域の活性化に寄与する
- スポーツ観戦に加えソフト面の取組を行うことにより、アリーナに係る多様な場面に、府民市民が主体的に参加することになり、新たなまちづくりにつながるのではないか
- 子育て家庭が試合等がない日にも立ち寄れるようなアリーナを軸にした複合的なスポーツ施設が整備されれば、周辺への子育て世代の流入が活性化するのではないか
- 1万人規模のアリーナを核として、プロスポーツクラブが地域に貢献し、役割を発揮しながら地域と共に成長することで、街が元気になる原動力となるのではないか
- 小学生の全国大会が開催できる環境を整えれば、親子で多くの方がこられるので、観光面でも効果が大きいのではないか
- アリーナ整備や運営に係る地元の同意、理解も重要な要素

# 1 第15回スポーツ施設のあり方懇話会での主な意見

## 多機能・多目的利用

- スポーツ施設の整備だけを考えるのではなく、防災等、多機能な利用ができるよう視野を広げた上で、国際基準に合わせた施設の整備に取り組んでもらいたい
- アリーナ機能を備えた場合、コンサートやスポーツ等、イベント活用等で大変大きな経済効果が生まれるのではないか
- しっかり収益を生んでいく施設を整備することも重要な視点。スポーツ以外の視点から、多機能・複合的な施設として、さらに京都ブランドを生かす観点から施設を整備すれば、国際的アーティストの誘致などが有利に進み、文化面、経済面にも寄与するのではないか

## 交通・安全面

- 駐車場や公共交通機関の状況も重要な観点であり、交通課題を解消する整備を並行するなど、周辺環境の検討も必要
- 会場に入る待機列など安全上の対応や、家族連れなどが楽しんでもらうためには大きなスペースが必要であり、施設だけでなく全体としてどのようなエリアを作るのかも重要な視点

## 2 現地調査（8月25日）での主な意見

### 整備検討地（府立大学・向日町競輪場）に関する意見

- アリーナの考え方として、競技だけでなく複合施設による周辺の活性化が大事。府立大学は学生中心であり、アリーナが整備されることに伴い、周辺の住民との関係含め、周辺の活性化は難しいのではないかと。一方、向日町では競輪場の再整備も含めて敷地全体で考えることができ、全体で地域活性化につながるものを目指せるのではないかと。
- 過去に比べ、迷惑施設と言われる施設が増えた。大学の中に多くの人が集まるスポーツ施設ができると、それは迷惑施設と認識されるのではないかと。一方、向日町競輪場は古くから迷惑施設とされてきた中、周辺住民の理解を得る取組を続けてきて今がある。向日町なら新しい施設を受け入れられる素地ができているのではないかと。
- たくさんの府民に応援していただけるスポーツ施設を整備して欲しい
- 整備にあたっては費用対効果も考える必要がある。アリーナは付帯施設等を含めて一定の空間が必要である

## 2 現地調査（8月25日）での主な意見（続き）

- 地域活性化・地域との融合の観点、スポーツ振興による人材育成の観点、親子連れが住みやすく、遊びにいける等の若い世代への支援の観点、以上の3つの観点が大事
- 整備検討地2か所だけでなく、京都府のスポーツ施設全体でのネットワーク化により全体最適が図れるとよい
- 行政が新しい施設を造る際にマスタープランがあるはずで、どこにどういった施設を造るのかをよく考える必要がある
- スポーツ施設は大きなインフラを造るという発想が大事。備蓄など防災拠点でスポーツができるといった発想の転換などは住民理解を得やすいのではないか
- 外国人への対応をどうするかの見点も大事。建物のみでなく、通信環境や道路環境なども含め、未来を見据えた計画を立てる必要がある
- 反対はあっても、良い施設を作ることによって地域のコンセンサンスが得られ、結果としてランドマーク的な施設になると考える

# 3 スポーツ振興に関する京都府の現行計画

## 京都府総合計画

- 府のめざす方向性を将来構想、基本計画等の形で明らかにしたものであり、令和5年に社会情勢の変化を踏まえ前倒し改定（計画期間：令和5年4月1日～令和9年3月31日）
- 分野別基本施策「10.誰もが親しみ夢が広がるスポーツ」において、2040年に実現したい姿や4年間の対応方向、具体方策等を提示

### ◆ 2040年に実現したい姿

- ・スポーツを通じて地域が固い絆で結ばれている社会
- ・スポーツを通して府民の感動を呼び、夢とあこがれの持てる社会
- ・京都府ゆかりのトップアスリートが世界で活躍する社会

### ◆ 4年間の対応方向・具体方策（令和5～8年度） 抜粋

#### ソフト方策

- ⑥ 少子化が進む中においても、子どもたちがやりたいスポーツに取り組めるよう、スポーツ団体等と連携し、「京のジュニアスポーツアカデミー(仮称)」を創設
- ⑪ スポーツを通じて子どもたちが夢やあこがれを持ち、豊かな心をはぐくめるよう、トップアスリートのプレーを身近に観戦したり、体験できる取組を進める
- ⑬ 競技団体と連携し、プロスポーツをはじめトップアスリートのプレーが身近に観戦できる大会の誘致に取り組む

#### ハード方策

- ⑦ 学生スポーツや国際大会にも活用できるアリーナ機能を備えた体育館を整備し、府民が身近にスポーツを感じられる環境づくりを進める
- ⑧ 府内の都市公園において、府民が楽しみながら運動ができるとともに、身近にスポーツを体験できる施設の整備等を進める
- ⑨ 府立施設の充実をはじめ、広域の利用や、地域の特色を生かしたスポーツ振興に資する市町村スポーツ施設の整備への支援とともに、企業・大学等のスポーツ施設が一般利用できる取組を進め、府民がスポーツに親しめる環境を充実させる

# 3 スポーツ振興に関する京都府の現行計画

## 京都府スポーツ推進計画

- 平成26年に今後10年間を見通した府のスポーツ推進に関する基本計画として、「京都府スポーツ推進計画」を策定（※現在次期計画検討中）
- スマートスポーツ（生涯スポーツ分野）、エンジョイスports（子どもスポーツ分野）、チャレンジスポーツ（競技スポーツ分野）、「夢・未来」スポーツ拠点の整備（施設充実分野）の4分野をスポーツ推進の柱と位置付け

### ◆スポーツ推進計画 抜粋

#### ソフト方策

##### 第1章 ライフステージに応じたスマートスポーツ

###### Ⅲ.府民の「する」「みる」「ささえる」気持ちを高めるスポーツイベント

2. 京都の地域資源を活かしたスポーツツーリズムの推進
- (5) 大規模なスポーツ大会等開催・誘致
4. プロスポーツ団体と府民が一体となった活動の推進

##### 第2章 子どもをはぐくむエンジョイスports

###### I. 運動・スポーツが好きになる工夫

2. 体を動かすことが好きになる環境づくり
- (2) トップアスリート等との交流の充実  
本府ゆかりのトップアスリートやプロチームの選手を指導者登録し、子どもたちが直接指導を受けることができる「京のスポーツ夢バンク」事業を実施

#### ハード方策

##### 第4章 「夢・未来」スポーツ拠点の整備

###### I. 青少年の夢やあこがれとなる環境づくり

1. 子どもたちの夢とあこがれの舞台となり、府民が誇りを持つことができる施設
3. 手軽にスポーツを楽しめるとともに、競技スポーツの拠点となる施設

###### II. スポーツに親しみやすい環境づくり

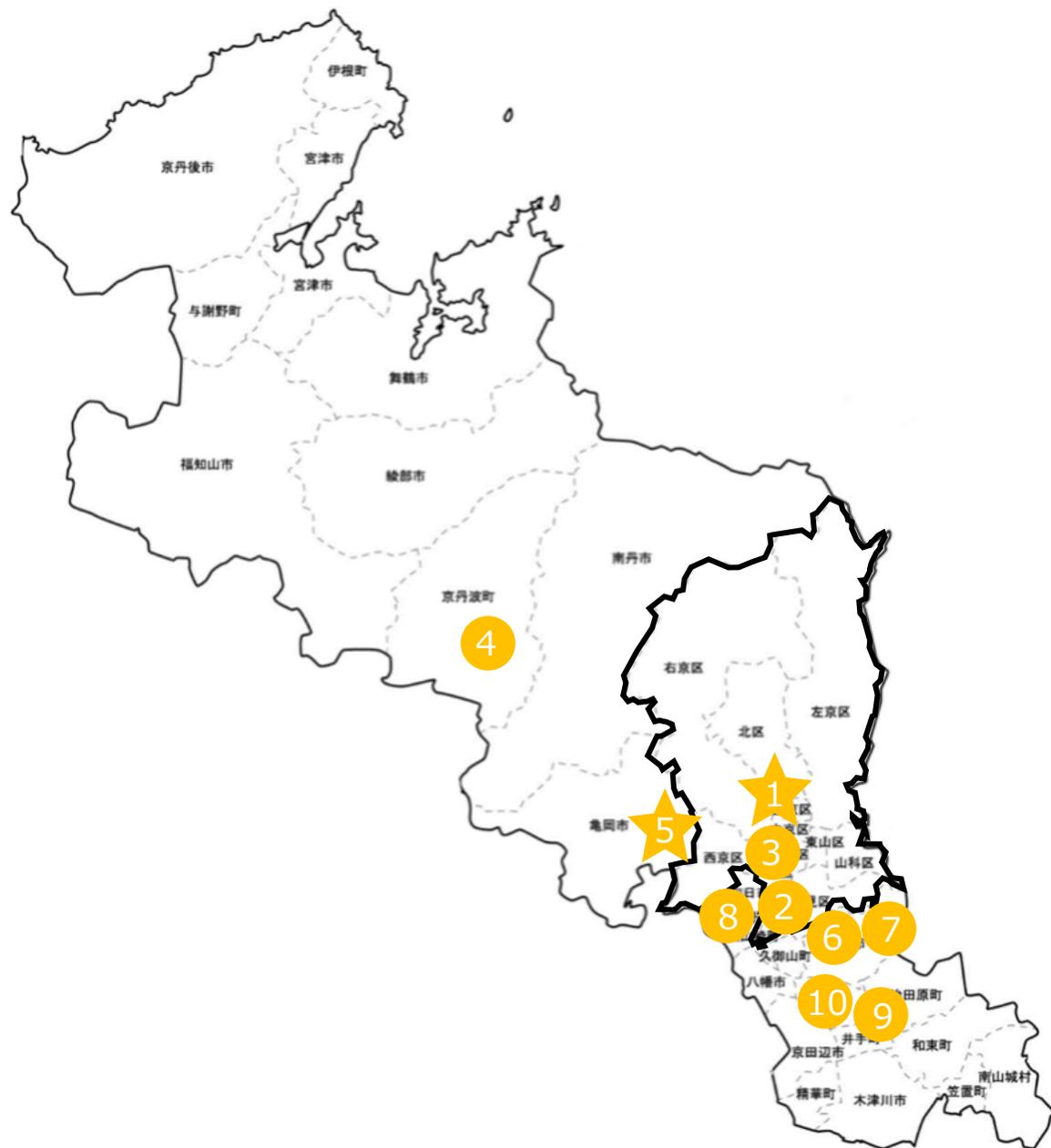
2. 「する」「みる」「ささえる」それぞれの立場に立った施設
4. 新しいスポーツニーズに対応した施設
- (3) スポーツに限らず、府民が足を運びたくするような施設整備
5. 京都を元気にするスポーツ施設

### 3 京都府域におけるスポーツ施設の状況

#### ◆京都府が整備等を行ったスポーツ施設

	施設名	
1	島津アリーナ京都 (府立体育館)	★
2	伏見港公園	
3	京都テルサ	
4	丹波自然運動公園 京都トレーニングセンター	
5	サンガスタジアム by KYOCERA (府立京都スタジアム)	★
6	山城総合運動公園	
7	木下アカデミー京都アイスアリーナ (京都宇治アイスアリーナ)	
8	アクアパルコ洛西 (洛西浄化センター公園)	
9	サン・アビリティーズ城陽	
10	城陽五里五里の丘 (府立木津川運動公園)	

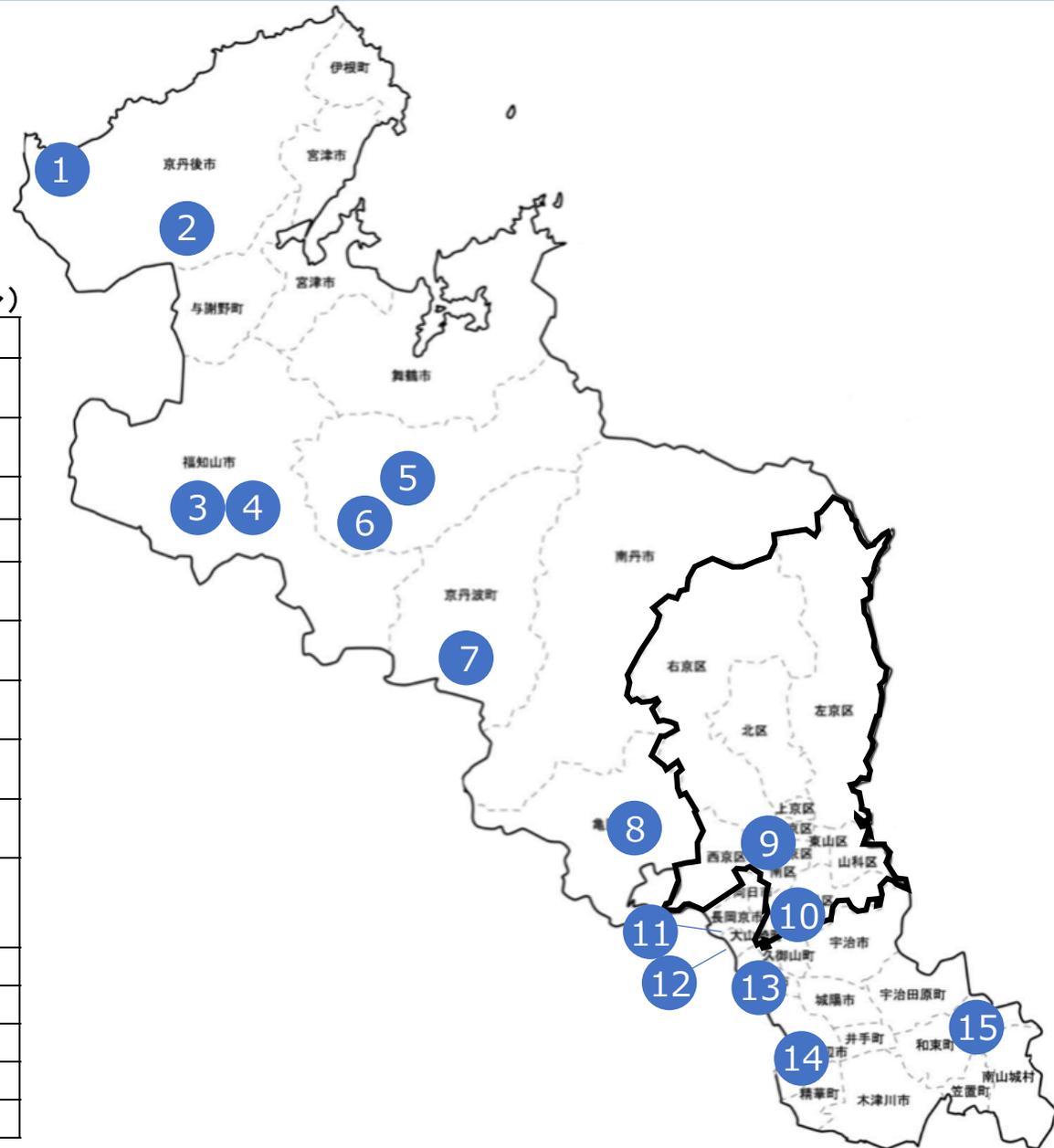
★ …「みるスポーツ」としての機能が備わった施設



### 3 京都府域におけるスポーツ施設の状況（市町村所管の広域施設）

#### ◆広域的スポーツ施設充実支援事業補助金執行施設(H25～)

	市町村	施設名	整備概要
1	京丹後市	久美浜湾カヌー艇庫	パラ大会誘致可能施設への施設改修
2	京丹後市	峰山途中ヶ丘公園 陸上競技場	第3種公認陸上競技施設への改修
3	福知山市	市民体育館	競技照明設備改修
4	福知山市	三段池公園	硬式テニスコートの増設
5	綾部市	綾部市総合運動公園 あやべ球場	スコアボード改修
6	綾部市	あやべ日東精工アリーナ	卓球大会等の開催が可能な新体育館の整備
7	京丹波町	グリーンランドみずほ	ホッケーグラウンド夜間照明設備
8	亀岡市	亀岡運動公園	第3種公認陸上競技施設への改修
9	京都市	西京極陸上競技場	大型映像装置、新メインゲート、諸室、トイレ改修等
10	京都市	横大路運動公園	園路、駐車場整備 硬式野球場、多目的グラウンド（設計）
11	長岡京市	西山公園体育館	競技照明設備改修
12	大山崎町	大山崎町体育館	空調、照明設備設置
13	八幡市	男山レクリエーションセンター	スケートボードパーク整備
14	京田辺市	中央体育館	アリーナ空調整備
15	和束町	湯船森林公園	マウンテンバイクコース整備



# 3 京都府のスポーツ振興に関する主要な施策

## 京のスポーツ夢づくり事業

### 【概要】

- 子どもたちがスポーツを通じて夢や希望を持てるよう、府内プロスポーツチームと連携したスポーツ体験教室や、様々な競技のトップアスリートとの交流等を促進することで、スポーツの裾野拡大となる取組を展開

### 夢づくり事業2022実績

#### 京都キッズスポーツフェスタ（R4年12月）

- 京都サンガF.C.をはじめとしたプロスポーツチームと連携するなど、より多くのトップアスリートを招聘し、令和3年度より種目数を拡大（3種目→10種目）し、実施。
- イベント後アンケート9割以上「とても楽しかった・楽しかった」と回答、8割以上「このイベントをきっかけにスポーツをやりたい」と回答

	小学生	合計
参加者	延べ1,656人	概ね2,500人 保護者等含む
種目	サッカー、バスケ3×3、スポーツライミング、卓球、ポッチャ、ダブルタッチ、ブレイクダンス、スケートボード、陸上、フライングディスク	

## 京のスポーツ夢バンク事業

### 【概要】

- 「京のスポーツ夢バンク」に登録しているオリンピックや世界選手権等で活躍した京都府ゆかりのトップアスリート等を、府内の学校や総合型地域スポーツクラブ等が実施するスポーツ教室へ指導者として派遣

夢バンク	個人	団体	計
登録状況 (R5.4時点)	74名	105名 9チーム	179名

	回数	参加者数
R4年実績	43回	3,821名
累計 (H24~R4)	263回	21,657名

## 京のジュニアスポーツアカデミー構想

### 【概要】

- 少子化の中でも、将来にわたりすべての子どもたちがやりたいスポーツに継続して親しむことができる機会の確保に向けた施策を推進
- 令和5年度は構想推進に向けた調査検討事業を実施

- ◆ 京都にとって今後の屋内スポーツ施設はどのようなものが求められるか
- ◆ 屋内スポーツ施設を整備する上での立地や敷地条件はどうか



前回（第15回）有識者懇話会、現地調査の御意見等を踏まえ、専門的な見地から改めて御意見を伺いたい